

## 第3章 まとめ

### 1. 全体の傾向

#### (1) 退所後の進路について

##### ① 進学・就学の状況

###### 1) 退所直後の進学の状況

- 退所直後の主な進路について、前回調査と比較すると、「進学した」人の割合は46.5%と3.4ポイント増加している。(図表25)
- 退所直後に進学した学校の種類別に、「中途退学した」と回答した人の割合をみると、「高校」では8.9%、「専門学校・短期大学」では16.0%、「4年制大学」では15.1%となっている。(図表31)
- 退所直後に進学した学校の卒業・在籍状況について、前回調査と比較すると、「中途退学した」と回答した人の割合は14.0%と6.8ポイント減少し、また、「卒業した」と回答した人の割合が50.8%と16.9ポイント増加している。(図表32)

###### 2) 現在の就学の状況

- 現在の就労・就学の状況について、「学校に通っている」と回答した人の割合は、19.2%となっている。(図表48)
- 現在通っている学校の種類について、前回調査と比較すると、「(4年制)大学」と回答した人の割合は43.7%と3.0ポイント増加し、「専門学校・短期大学」と回答した人の割合は36.9%と2.4ポイント増加している。(図表71)
- 現在学校に通っている人を除き、最終学歴をみると、高校が57.5%と最も多く、4年制大学は9.4%であった。また、前回調査と比較すると、「中学校」と回答した人の割合は13.0%と5.7ポイント減少し、「(4年制)大学」と回答した人の割合は9.4%と6.2ポイント増加している。(図表73)(図表74)
- 手取りの月収について、現在の就労・就学の状況別にみると、「就学あり・就労あり」「就学あり・就労なし」のいずれも、「5万円未満」「5～10万円未満」を合計した割合は、70.0%を超えている。(図表91)

##### ② 就職・就労の状況

###### 1) 退所直後の就職の状況

- 退所直後の主な進路について、前回調査と比較すると、「就職した」人の割合は42.8%と4.6ポイントと減少している。(図表25)
- 退所直後に最初に就いた仕事について55.3%が「すでに辞めている」と回答しており、継続期間について前回調査と比較すると、12か月未満と回答した人の割合は42.9%と7.9ポイント減少している。(図表39)(図表47)

## 2) 現在の就労の状況

- 現在の就労・就学の状況について、「働いている」と回答した人の割合は、79.0%となっている。また、現在の就労・就学の組み合わせをみると、「就学なし・就労あり」の割合は68.9%と最も高くなっている。(図表 48) (図表 49)
- 現在の雇用形態について、「正社員」が47.8%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」となっている。また、現在の就学の有無別にみると、「就学なし」では「正社員」と回答した人が54.7%、「パート・アルバイト」と回答した人が31.8%となっている。(図表 56) (図表 57)
- 現在学校に通っている人を除き、現在の仕事の業種をみると、「商業・サービス業」が46.6%と最も高く、前回調査(46.0%)とほぼ同様の結果となっている。(図表 55)
- 現在学校に通っている人を除き、最終学歴別に雇用形態をみると、「中学校」「高校」では「正社員」と回答した人の割合は、それぞれ33.3%、48.6%となっている。「専門学校・短期大学」「4年制大学」では「正社員」と回答した人の割合は、それぞれ73.8%、83.8%となっている。(図表 58)
- 手取りの月収について、現在の就労・就学の状況別にみると、「就学なし・就労あり」では「15～20万円未満」が34.0%と最も割合が高くなっている。(図表 91)

## (2) 退所者の生活について

### ① 退所後・現在の困りごと

- 退所に向けて不安だったこととして、「生活費や学費のこと」の割合が最も高く、次いで「将来のこと」「仕事のこと」「住まいのこと」となっている。(図表 178)
- 退所直後にまず困ったことについて、「金銭管理(33.0%)」「生活費(32.1%)」「困ったことはない(26.9%)」が上位3位となっている。前回調査と共通して設置した選択肢については、前回調査とほぼ同様の結果となっている。(図表 183)
- 退所後に、法的なアドバイス等を必要とするトラブルに遭遇した経験の有無について、「児童養護施設」と「自立援助ホーム」では「ある」と回答した人がそれぞれ21.5%と22.7%となっている。(図表 201)
- 遭遇したトラブルの内容について、「家賃滞納(38.7%)」「借金(31.5%)」、「その他(21.6%)」が上位3位となっている。(図表 203)
- 直近1年間の施設等との連絡頻度は、「2～3か月に1回以上」の割合が31.3%、「半年間に1回以上」が24.4%、「月に1回以上」が18.5%で多かった。(図表 112)
- 困った時の相談相手は、「施設の(元)職員」の割合が44.9%、「上記(施設等で生活したことのある友人)以外の友人」が41.6%、「施設等で生活したことのある友人」が29.5%で多かった。(図表 122)

### ② 相談相手・相談機関

- 施設退所に際し支えになった人として「施設の職員」について、「大きな支えになった」

と回答した人の割合が最も高く 61.6%となっている。また、退所直後の困ったことに対する主な相談相手について、「施設の職員」と回答した人の割合が最も高く 49.8%となっている。(図表 151) (図表 184)

- 退所直後の困った時に対する主な相談相手について、「相談できる人はいない」と回答した人の割合は、12.5%と前回調査(11.7%)とほぼ同様の結果となっている。(図表 187)
- 施設等退所者の相談支援機関の認知・利用状況について、「相談支援機関があることを知らなかった(25.0%)」、「ある(13.4%)」、「ない(61.6%)」となっている。前回調査と比較すると、「ある」と回答した人の割合は5.0ポイント増加している。(図表 156)

### ③ 健康状態

- 現在の心身の状態について、「健康である」と回答した人の割合が最も高く 76.4%となっている。「通院している」は17.0%、「通院していないが体調が悪い」は7.6%となっている。(図表 95)
- 「健康である」と回答しなかった人のうち、「医療機関」を利用している人に通院している診療科をたずねたところ、前回調査と比較すると、「心療内科(41.4%)」「精神神経科(41.4%)」と回答した人の割合が増加している(17.4ポイント、19.3ポイント)(図表 100)
- 過去1年間で医療機関を受診できなかった経験について、「経験はあった」と回答した人の割合は24.6%となっており、その理由については、「お金がかかるから」の割合が最も高く 60.4%となっている。(図表 104) (図表 106)

### ④ 現在の住まい・家計

- 現在の住まいについて、「民間賃貸住宅(61.2%)」「親の家(9.7%)」「福祉施設・自立援助ホーム(7.7%)」が上位3位となっている。(図表 77)
- 手取りの月収について、同居相手の状況別にみると、「ひとり暮らし」では「15~20万円未満」が34.5%と最も割合が高くなっている。「子供あり」では「20~25万円未満」が23.9%と最も割合が高くなっている。また、月々の収支バランスは、「収入と支出がほとんど同じくらい」が36.6%、「収入の方が多(黒字)」が29.8%、「支出の方が多(赤字)」が21.4%となっている。(図表 82) (図表 92)

### (3) その他

- 措置延長制度の認知度について、「知っていた」と回答した人の割合は70.8%と前回調査(61.5%)と比較すると増加している。(図表 137)
- 自立支援コーディネーター、ジョブ・トレーナー、自立支援相談員の認知度について、「知っていた」と回答した人の割合は75.5%と前回調査(45.7%)と比較すると増加している。(図表 140)

## 2. 児童養護施設と自立援助ホームの特徴

### (1) 児童養護施設

#### ① 施設職員からの支援

- 退所前に施設等から受けた支援について、「児童養護施設」では「退所後の住まい探し・同行 (50.2%)」「生活費のシミュレーション (46.5%)」「困りごとやわからないことの相談先や相談方法の案内 (44.1%)」が上位3位となっている。(図表 142)
- 退所直後の進路について「進学」または「当時通っていた学校に引き続き進学」と回答した人の進学に際して施設等から受けた支援について、「奨学金等の紹介」の割合が最も高く64.2%となっている。前回調査と比較すると、「学習塾への通塾」が24.6%から31.6%と7.0ポイント増加している。(図表 149)

#### ② 自立支援コーディネーターによる支援

- 退所に際し「施設の職員」が「大きな支えになった」と回答した人の割合について、自立支援コーディネーター配置状況別にみると、「配置なし」では65.2%、「配置あり」では67.1%となっている(前回調査における配置施設の退所者のうち、「大きな支えになった」と回答した人の割合より6.1ポイントの増加)。(図表 154)
- 進学に際して施設等から受けた支援について、自立支援コーディネーター配置状況別にみると、「配置なし」では「奨学金等の紹介」が高くなっており、「配置あり」では「学習ボランティアの支援 (30.1%)」や「家賃、生活費等の経済的支援 (23.6%)」にも一定数の回答があった。(図表 150)
- 転職回数について、自立支援コーディネーター配置状況別にみると、「配置なし」では「転職していない」と回答した人の割合は42.9%に対し、「配置あり」では46.5%となっている。(図表 64)
- 退所に向けたサポートに対する評価について、自立支援コーディネーター配置状況別にみると、「配置なし」では「よかった」と回答した人の割合は47.8%に対し、「配置あり」では61.0%となっている。(図表 169)

## (2) 自立援助ホーム

### ① 職員からの支援

- 退所前に施設等から受けた支援について、「自立援助ホーム」では「退所後の住まい探し・同行 (54.1%)」「生活費のシミュレーション (48.6%)」「困りごとやわからないことの相談先や相談方法の案内 (37.8%)」が上位3位となっている。(図表 142)
- 就職活動に際して施設等から受けた支援について、「自立援助ホーム」では「求職支援 (43.8%)」「居住先の確保 (34.4%)」「職場との関係調整 (31.3%)」が上位3位となっている。(図表 145)

### ② ジョブ・トレーナーによる支援

- 手取りの月収について、ジョブ・トレーナー配置状況別にみると、「配置なし」では25万円以上を回答した人の割合は7.1%に対し、「配置あり」では8.7%となっている。(図表 94)
- 転職回数・経験の状況について、ジョブ・トレーナー配置状況別にみると、「配置なし」では5回以上と回答した人の割合は46.6%に対し、「配置あり」では26.4%となっている。(図表 65)
- 転職した理由について、ジョブ・トレーナー配置状況別にみると、「配置なし」では「給与や労働条件・仕事内容などの事情 (66.7%)」「職場の人間関係 (50.0%)」に対する回答の割合が高くなっており、「配置あり」では「職場の人間関係 (34.9%)」「心身のストレス、病気 (34.9%)」に対する回答の割合が高くなっている。(図表 69)
- 退所に向けたサポートに対する評価について、ジョブ・トレーナー配置状況別にみると、「配置なし」では「よくなかった」と「あまりよくなかった」を回答した人の割合は6.7%に対し、「配置あり」では1.9%となっている。(図表 170)

---

東京都における児童養護施設等退所者の実態調査 報告書

令和4年1月

---